

平成 30 年度復興支援活動推進業務 復興支援員向け研修会 実施要領

研修 1

研修名	被災者の暮らしの変遷と生活課題 ～ひとりで抱え込まない、燃え尽きないための心得とは～
開催日時	平成 30 年 11 月 13 日 (火) 10:00～12:30
開催会場	東松島市コミュニティセンター 会議室 (宮城県東松島市矢本字大溜 1-1)
定員	20 名
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 被災者個々の課題に対応する個別支援／対人援助の活動をされている方 (着任から 2 年以内の初任者の方を想定しています) コミュニティ支援や地域おこしの活動をされている方の中で、地域の福祉の仕組みに関心のある方。
内容	個別支援／対人援助の基礎 <ul style="list-style-type: none"> 地域で生活上のサポートが必要な人の環境と本人の状況について 傾聴、戸別訪問等の基礎的な手法について 個別支援と地域支援の関係について ひとりで抱え込まない、燃え尽きないための心得について

プログラム概要

時間	内容	担当／講師
10:00～10:10	研修趣旨説明	浜上 章
10:10～10:50 (40 分)	地域における被災者の暮らしの変遷と生活課題を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 現在の被災者の暮らしと生活課題を知る 被災者の暮らしの変遷に伴う支援の変化を知る 個別支援と地域支援の関係を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 被災者の個別性について学ぶ 被災者が社会的に孤立することを防ぐため、地域の支えあいの一環としてできる支援のあり方を学ぶ 	真壁 さおり (宮城県サポートセンター支援事務所)
10:50～11:50 (60 分)	傾聴、戸別訪問、面接等の基礎的な手法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイングにより被災者との信頼関係の持ち方と関わり方を具体的に学ぶ 	
11:50～12:30 (40 分)	ひとりで抱え込まない、燃え尽きないための心得を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 被災者との会話から、ひとりで抱え込まない支援についてグループで考える まとめ	

研修 2

研修名	地域づくりにおける住民組織・コミュニティ組織を知る
開催日時	平成 30 年 11 月 13 日 (火) 13:30~16:00
開催会場	東松島市コミュニティセンター 会議室 (宮城県東松島市矢本字大溜 1-1)
定員	20 名
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ支援を主な活動とする方 (着任から 2 年以内の初任者の方を想定しています) ・地域おこし活動や個別支援/対人支援活動をされている方で、地域との関係構築の一環としてコミュニティ組織に関心のある方
内容	<p>地域コミュニティ支援の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援活動が「空回り」しないための基礎知識。住民主体の地域づくりの組織と活動展開について ・地域住民が生活課題に自ら取り組み、解決に必要な資源の調達やネットワークづくりを支援する「コミュニティワーク」の基礎について ・自分たちの地域を客観的な視点を持って見つめ直す「地域診断」の基礎的手法と地域社会でのネットワークづくりについて

プログラム概要

時間	内容	担当/講師
13:30~13:40	研修趣旨説明	
13:40~14:30 (50 分)	<p>地域づくりにおける住民組織、コミュニティ組織を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動がよりスムーズに行えるよう、地域づくりのパートナーとして重要な、地域を構成する様々なコミュニティ組織とその役割を学ぶ <p>住民による見守り・支え合い等、地域づくりの活動の重要性を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民による地域づくりの活動の事例を学ぶ ・専門職や地域の NPO、外部ボランティアがどのように住民による地域づくりの活動を支援していくか学ぶ ・住民、専門職、NPO 等の連携について学ぶ 	浜上 章 真壁 さおり (宮城県サポートセンター支援事務所)
14:30~15:30 (60 分)	<p>客観的な視点を持って地域を理解するためのさまざまな情報収集の仕方について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで、地域資源マップや地域診断の基礎的手法について学び、地域活動がより効果的に行えるよう、地域の人材や資源を適切に把握する能力を養う 	
15:30~16:00 (30 分)	ふりかえり・まとめ	

研修3

研修名	現地視察会 ～丸森町筆甫地区の取り組みについて知る～
開催日時	平成30年12月17日(月) 13:30～15:30 (参加者は午前から貸切バスで現地まで移動します) (集合時間・場所等は参加者に通知します) (集合場所は、気仙沼・南三陸エリア、石巻エリア、仙台周辺エリア等複数設定する予定です)
開催会場	丸森町筆甫地区
定員	20名
対象者	・復興支援員の皆様 ・地域おこし支援/地域コミュニティ支援/地域福祉の支援活動を行う地域団体の皆様
内容	丸森町筆甫地区における取り組みについて 原発事故による放射能汚染とそれに伴う風評被害により大きな影響を受けた丸森町筆甫地区。 地区のコミュニティの核となり、地域おこし活動に加え、住民とともにコミュニティ・地域福祉活動にも取り組んでいる「筆甫地区振興連絡協議会」を中心とした取り組みについてお話を伺い、現地の様子を視察します。 さらに、地域住民のニーズに沿った共同店舗「ひっぽのお店 ふでいち」の取り組みを通じて、宮城県沿岸部共通に見られる買い物難民問題の解決に向けて、各地域でできることを考えるきっかけとします。 ・筆甫地区振興連絡協議会の活動についての講話 ・活動の現場視察 ・協議会の方と参加者による意見交換